

THE YOMIURI SHIMBUN

読賣新聞

2017年(平成29年)

12月7日 木曜日

たいせつ
大雪



ケルケンツェス次長(中央)と握手する松井知事(左)と吉村市長(右、府庁で)

25年万博熱意アピール

知事、大阪市長 国際事務局次長に

博覧会国際事務局(BIE)のデイミトリ・ケルケンツェス次長が6日、府庁を訪れ、2025年国際博

覧会(万博)の誘致を目指す、松井知事と吉村洋文・大阪市長と意見交換した。来年2と4月頃に、BIE

Eの加盟国代表でつくる調査団が日本を視察することになっており、ケルケンツェス氏は事前調整のため、7日までの日程で来日した。府庁では、万博誘致のロゴ入りの小旗を持った議員や職員約100人が歓迎した。

意見交換で、松井知事は「大阪には1970年万博の経験が受け継がれており、次も来場者を笑顔にする万博を開催できる自信が

ある」と強調。吉村市長は「インフラ整備など、世界中におもてなしができるよう態勢を整えたい」と語った。

ケルケンツェス氏は「日本の取り組みは非常にパワフル。どれだけ実現可能性があるのか、加盟国に示してほしい」と述べた。